

二圖
みやまきけまん

(Corydalis pallida PERS.)

ハ到底萬丈ノ黃蘆ヲ誇リトスル都會ノ町人ナドニ知レ様筈ハナイ其雲上草ノ秘密ヲ剥抉シタ所ニ岡田君ノ面目ガ躍如トシテ居ルコノこまくねニ較ブレバ下界ノ數ノ中ノ下等品デハアルガむらさけまん (Corydalis incisa PERS.) ト呼ブ雜草ガアル (第一圖) こまくねトハ親類デハアルガ大分身分ガ違イ華族様ト素町人位ノ差ハアルガ四民無暗ニ平等ガル現代世相ノ恩澤ニ遠慮ナク浴サシテ名乗ラセルガコノむ一枚丈ハ數萬年前ニ例ノ「モラトリューム」ニデモカヽツタノデアラウ、我ガむらさけまんハ堂々ト傳家ノ種子葉ヲ二ツカヽゲテ居ルコト寫眞ノ通リデアル、但シ單子葉ガ雙子葉ヨリ新シイトナレバコレハマタ一足先發シテキルモノデアラウ然シ血縁ハ争ハレスモノデ其子葉ハこまくの同様ヒヨロヽ然トシテ居ル、岡田君ノ尻馬ニ乘リよたヲトバスコト如斯、マタみやまけまんニモ同様ノコトガアル、(第二圖ノ通リ) 因ニ云フ Dicentra 屬中 Cucullaria 節 Corydalis 屬中 Pea gallinaceus 節ト Radix cava 節ノモノハ “havent nur einen Kotyledon” ト分科大全ニアル所デ見ルトむらさけまんガ其何ノ節ニモ屬サナイモノト見ユル

○あかはなわらびノ新產地

あかはなわらびノ新產地

久内清孝

主筆牧野先生ハ武州膝折デあかはなわらびト云フ瓶爾小草科ノ新種ヲ發見シテ之ニ *Botrychium nipponicum* MAKINO. ノ學名ヲ與ヘテ居ル、コノ羊齒ハ一見おほはなわらびニ似テ居ルガ光澤ノアル煉瓦色デアツテ牧野先生ハ *laticious* ト記シテ居ル、其記載ハ本誌一ノ二即チ大正五年四月號ニアルガ之ヲ讀ンデ見ルト色バカリデナク脈モおほはなわらびトハ非常ニ異リ明瞭ナ種デアルコトガ判ル
其後ヤハリ膝折附近デ理學士朝比奈貞一君ガ之ヲ採集シタト聞イテ居ルガ更ニ大正六年二月ニ相州箱根權現ノ森デモ發見シタモノガアル
余ハ本年四月之ヲ武州秩父武甲山下ノ各處デ採集シタ之ガ恐ラク本邦第三ノ產地デアルガ此様ニ各地デ見出サレテ居ル處カラ見ルト其分布ハ相當ニ廣イノデアラウガ一般人士ノ目ニフレル割合ガ少イタメカ其他ニ產地ガ知ラレテキナイノデハアルマイカ記シテ同好ノ注意ヲ喚起シテオク

○いはざくらノ產地

岡 田 喜 一

大正十三年七月九日 信州下伊那郡大鹿村デ いはざくらト思ハレルモノヲ發見ンタ、早速矢田部博士ノ原記載（植物學雜誌、第四卷第四十五號（一八九〇年））ト照合シ葉ノ圓形或ハ廣卵形、基脚心臟形緣邊微缺刻ニシテ不同ノ尖頭鋸齒アル點蒴ノ細長ニシテ稍彎曲シ、萼ヨリ一倍半乃至三倍長キ點、及ビ種子暗褐色デ外面細微ノ突起アル點、其他岩壁ノ罅間ニ產スル等ノ特徵ヨリいはざくら (*Primula tosaensis* YATABE) デアル事ヲ確カメ得タ、タゞ此原記載ト異ナル點ハ一體ニ小サイ事デ即チ葉ノ長サ八分乃至二寸五分ハ一分五厘乃至二寸、葉柄一寸五分乃至三寸ハ二分乃至三寸七分、蒴ノ長サ五分乃至五分五厘ハ二分五厘乃至三分五厘、花莖ノ長サ二寸五分乃至四寸ハ一寸五分乃至二寸強、二乃至六個ヨリナル繖形花叢ハ一乃至二個デアルガ是レハ地味氣候等ノ由